

寄稿案内

『民族藝術学会誌 arts/』寄稿要項

1. 『民族藝術学会誌 arts/』は、以下の4つの寄稿区分により構成される。

「特集」：特定のテーマにもとづき編集理事会が依頼する学術論文および研究報告。

「論文」：民族藝術学およびその関連分野に関するオリジナルな研究成果をまとめた学術論文。

「報告」：自身の実践を対象化して分析し記録した研究報告、および研究の過程で得られた、新しい発見や仮説を提示した研究報告。

「評論」：国内外の各種展覧会や公演を批評する論考、もしくは民族藝術学およびその関連分野に関する研究書や研究論文を対象とした評論。
2. 『民族藝術学会誌 arts/』に寄稿することのできる者は、民族藝術学会会員、および編集理事会が適当と認めた者にかぎる。
3. 原稿の分量は「特集」(原則として12,000字以内)、「論文」(12,000字以内)、「報告」(6,000字～12,000字以内)、「評論」(2,400字～3,600字以内)、「評論(書評)」(4,000字以内)とする。ただし、アルファベットは文字数(半角)ではなく、単語数で数えることとする。
4. 「論文」、「報告」、「評論」は、「投稿票」もあわせて添付して提出すること(投稿票は民族藝術学会ホームページからダウンロードできる)。
5. すべての寄稿は未刊行・未公開のものに限る。
6. 原稿の採否は編集理事会が決定し、その結果を速やかに寄稿者に通知する。採否の理由等については問い合わせに応じない。採否にかかわらず、原稿は返却しないので、寄稿者はコピーを必ず保管すること。著者校正の際にも原稿の送付はしない。
7. 編集理事会は原稿の内容、語句、図表等についての問題点を指摘し、寄稿者に再検討を要請することがある。
8. 校正については、再校までは寄稿者の責任とし、3校以降は編集理事会の責任とする。校正は、あくまで誤植訂正にとどめ、原文の増減、変更是許さない。

9. 稿料の支払いはおこなわれない。寄稿者には、掲載誌2部が無償で提供される。希望者には印刷原稿PDFを提供する。
10. 写真および図版の版権については、寄稿者の責任において処理すること。
11. 原稿の執筆にあたっては、別に定める執筆要領による。
12. 投稿締切については、原稿のカテゴリーごとに執筆要項で定める。
13. 掲載された著作物の著作権は、本学会に帰属するものとする。
14. 原稿の送付および連絡先は、次のとおりである。

『民族藝術学会誌 arts/』編集事務局

〒470-0348 愛知県豊田市貝津町床立101

中京大学現代社会学部

亀井哲也研究室

E-mail : arts@mg-gakkai.org

(メールでのご連絡をお願いします。なお、メールを送信する際には、件名に「特集」、「論文」、「報告」、「評論」、「その他」のいずれかを明記して下さい)

『民族藝術学会誌 arts/』執筆要領

「論文」

本論：12,000字以内(参考文献・註を含む、写真・図を含まない)

写真／図：計15枚以下

- ・規定枚数以内でも写真点数が10点を超える場合は、1点1点の掲載サイズが6cm×8cm大等、かなり小さなものになることをご承知おきください。
- ・写真掲載のための著作権処理は、執筆者の責任においておこなってください(なお、そのために必要な、発行部数等の情報は提供いたします。お問い合わせください)。著作権処理にあたり、費用が発生する場合でも、学会では費用の負担はできません。

表題・執筆者氏名：日本語と英語での表題と日本語とローマ字での執筆者氏名を記入してください。

要旨：200字以内

外国文要旨：使用言語は自由。上記和文要旨の訳と
考えてよい。

締切：8月末日必着

原稿の提出形態：

- ・原稿と写真・図は、できるだけファイル転送サービス、DropboxやOneDriveなどのデータ共有ストレージでお送りください。なお、送付後、迷惑メール扱いによる未確認を防ぐため、編集事務局あてにEメールでご一報ください。
- ・写真・図を入れてレイアウトすることはさけ、本文中に挿入箇所を明記したうえ、本文と写真・図は別々にお送りください。
- ・写真是、ボジ、紙焼きの郵送でも受け付けますが、できるだけ電子データで提出してください。電子データは、解像度に余裕のあるものを準備してください（印刷時350dpi程度を確保してください。一辺10cm大の印刷の場合、1400pixel以上が必要となります）。なお、提出いただいた写真、データは返却いたしません。また表データについては、エクセルまたはワード等のファイルで提出してください。

「報告」

本論：6,000字～12,000字以内（参考文献・註を含む、
写真・図を含まない）

写真／図：計15枚以下

表題・執筆者氏名：日本語と英語での表題と日本語
とローマ字での執筆者氏名を記入してください。

締切：8月末日必着

原稿の提出形態：「論文」の当該項目を参照のこと。

「評論」

ねらい：

- 1) 学会員による作品発表（展示等）や公演を学会員が論評することにより、学会内の理論研究と制作活動の連動を図ることを第一の目的とする。
- 2) 国内外の各種展覧会や公演を批評する論考も、広くとりあげることとする。

3) 原則として、1ヵ年（昨年の11月から今年10月まで）開催の展覧会や公演を対象とする。

- 4) 対象となる作品展や公演などを1～3件とりあげ、写真を含めて2～4ページで構成する。

本文：2,400字～3,600字以内（脚注なども含む、
図版を1点使用するごとに300字を減じることとする）

写真／図：原則として1～3点

- ・写真是、モノクロ写真となります。
- ・論評のタイトルとその英訳、写真キャプション、開催会場とその所在都市名、開催期日などが必要です。
- ・写真掲載のための著作権処理は、執筆者の責任においておこなってください（なお、そのために必要な、発行部数等の情報は提供いたします。お問い合わせください）。著作権処理にあたり、費用が発生する場合でも、学会では費用の負担はできません。

表題・執筆者氏名：日本語と英語での表題と日本語
とローマ字での執筆者氏名を記入してください。

締切：10月末日必着

原稿の提出形態：「論文」の当該項目を参照のこと。

「評論（書評）」

本論：4,000字以内

写真：表紙写真1点

表題・執筆者氏名：日本語と英語での表題と日本語
とローマ字での執筆者氏名を記入してください。

締切：8月末日必着

原稿の提出形態：「論文」の当該項目を参照のこと。